



TOYOTA BOSHOKU

東証プライム 証券コード 3116

2023年度（2024年3月期）

期末 決算説明会

開催日：2024年4月26日

目次

1. 2023年度 決算状況
2. 2024年度 通期業績予想
3. 参考情報

目次

1. 2023年度 決算状況

2. 2024年度 通期業績予想

3. 参考情報

- ◆本日は、お忙しい中、
当社の2023年度 期末決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆はじめに、2023年度期末の決算状況、
続いて、2024年度通期の業績予想をご説明いたします。
- ◆それでは、2023年度期末の決算状況について
ご説明いたします。

1-1) 2023年度 決算状況 連結決算概要

(億円)

	22年度 実績		23年度 実績		増減	
売上収益	16,040	100.0%	19,536	100.0%	3,495	21.8%
営業利益	476	3.0%	786	4.0%	309	65.0%
税引前利益	522	3.3%	873	4.5%	350	67.1%
当期利益※	146	0.9%	578	3.0%	432	294.3%

※親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益		78円57銭	311円74銭	-
為替レート	USドル	135円	145円	+ 9円
	1-0	141円	157円	+ 16円

売上収益

中国での減産はあるものの、
日本や米州での増産、アジアでの拡販などにより増収

営業利益

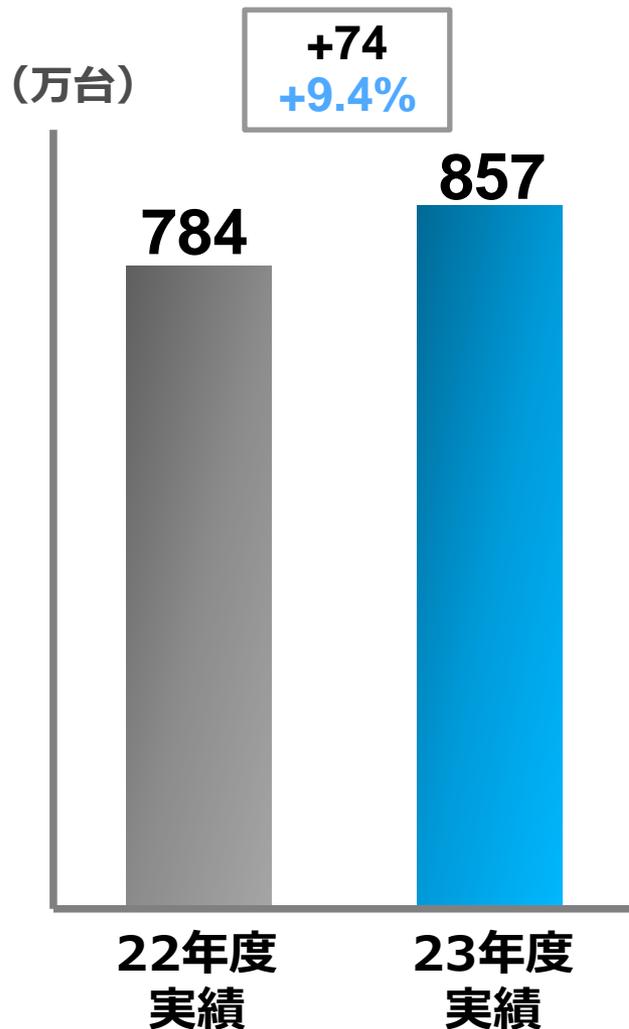
諸経費の増加や体質強化費用はあるものの、
増産効果や車種構成の変化に加え合理化などにより増益

スクリプト

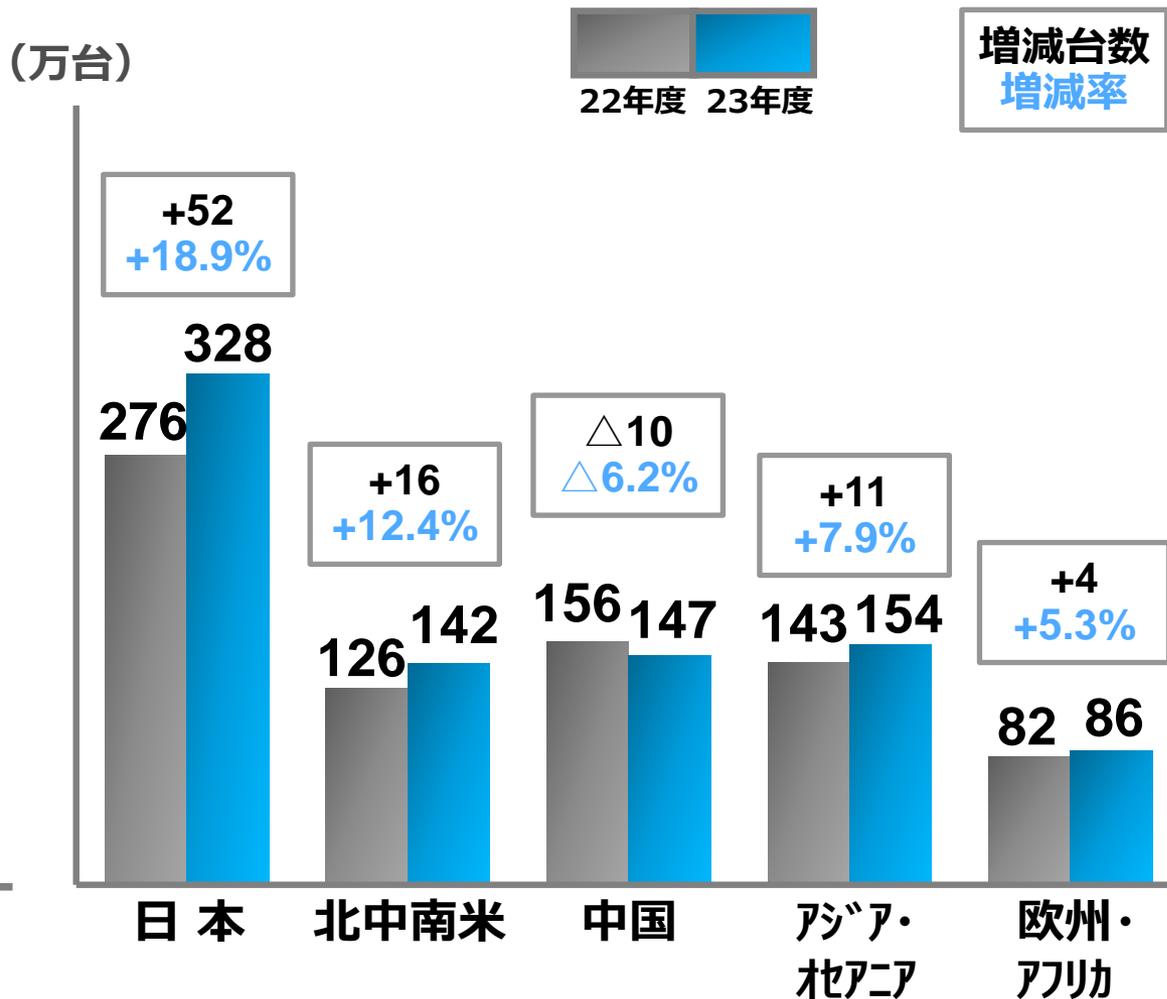
- ◆ 売上収益は、前期比3,495億円増収の1兆9,536億円。
- ◆ 営業利益は、前期比309億円増益の786億円となりました。
- ◆ 税引前利益は、前期比350億円増益の873億円。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比432億円増益の578億円となりました。
- ◆ 為替レートは、1ドル145円、1ユーロ157円でございます。
なお、前年同期からの為替影響につきましては、
売上収益で705億円増収、
営業利益で53億円増益する方向に効いております。

1-2) 2023年度 決算状況 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



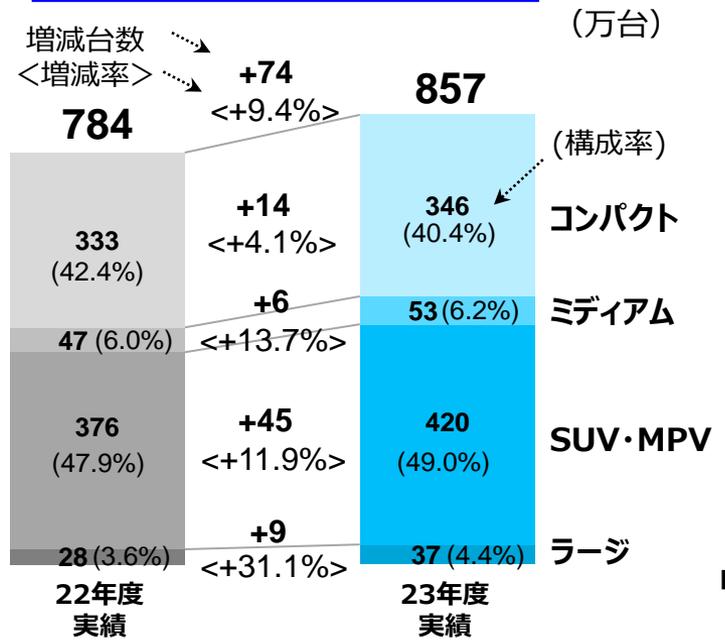
スクリプト

- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシートの生産台数ですが、連結全体では、前期比74万台増加の857万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

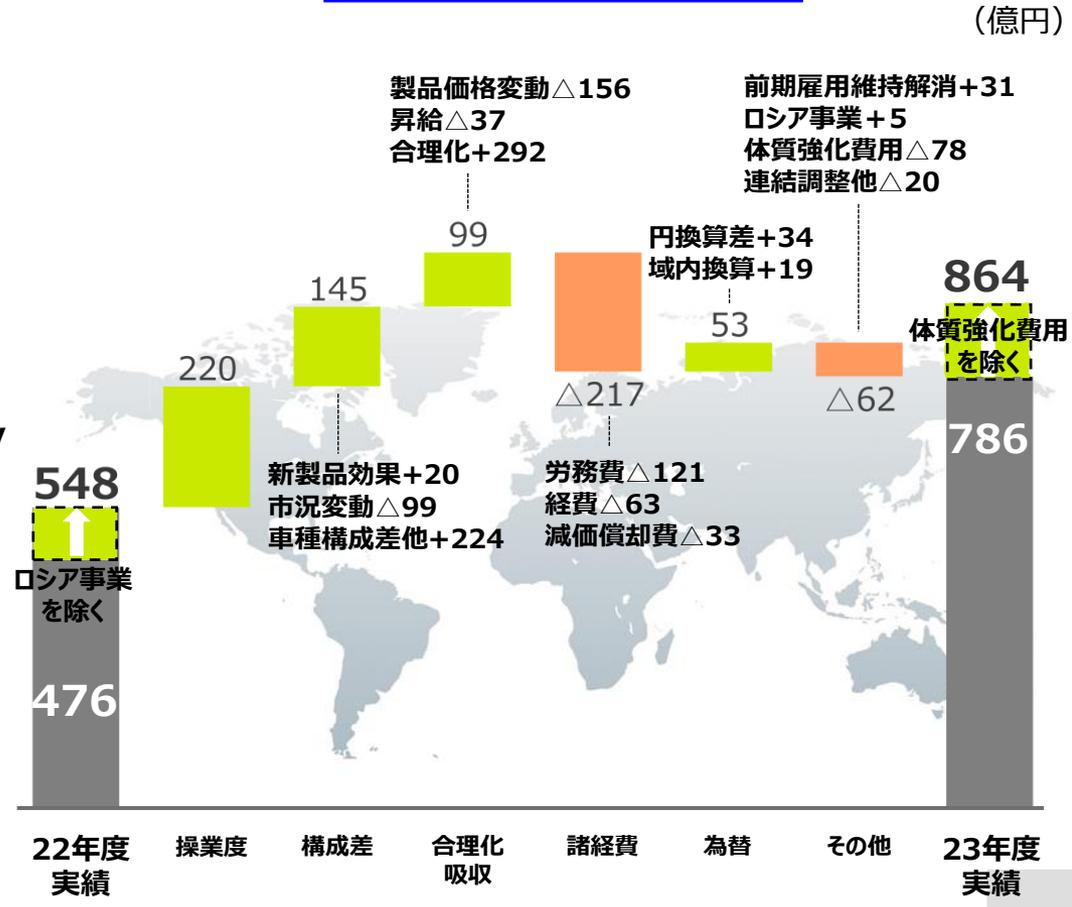
1-3) 2023年度 決算状況 連結 売上収益・営業利益

諸経費の増加や体質強化費用はあるものの、
増産効果や車種構成の変化に加え合理化などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析



当期の経営成績

	22年度実績	23年度実績	増減
売上収益	16,040	19,536	3,495
営業利益	476	786	309
営業利益率	3.0%	4.0%	-

スクリプト

- ◆次に、連結の業績についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比74万台増加の857万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比3,495億円増収の1兆9,536億円。
- ◆営業利益は、
諸経費の増加や体質強化を目的とした一時的な費用はありますが、
増産効果や車種構成の変化に加え合理化などにより、
309億円増益の786億円となりました。

1-3) 2023年度 決算状況 前回公表時との比較

	前回公表 (見通し)	今回公表 (実績)	増 減		
			計	社内努力	環境変化
					(億円)
22年度	ロシア事業 を除く 548	ロシア事業 を除く 548	-	-	-
操業度	262	220	△42		△42
構成差	179	145	△34		△34
合理化吸収	82	99	+17	+17	
諸経費	△193	△217	△24	△17	△7
為替	38	53	+15		+15
その他	29	16	△13		△13
23年度 (除く体質強化費用)	945	864	△81	+0	△81
体質強化費用	△15	△78	△63	△63	
23年度 (含む体質強化費用)	930	786	△144	△63	△81

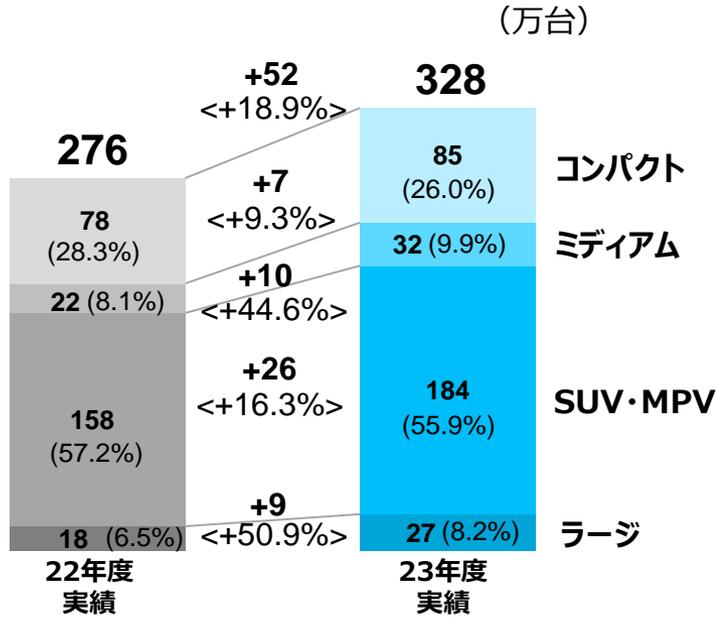
スクリプト

- ◆次に、前回公表時との比較についてご説明いたします。
- ◆諸経費の増加は合理化などの社内努力により挽回しましたが、主に日本での減産や車種構成の変化など環境変化による減益影響や、体質強化を目的とした一時的な費用の増加などにより、前回公表時から減益となりました。

1-3) 2023年度 決算状況 日本 売上収益・営業利益

増産効果や車種構成の変化などはあるものの、
諸経費の増加や体質強化費用などにより減益

台数・車種構成の変化

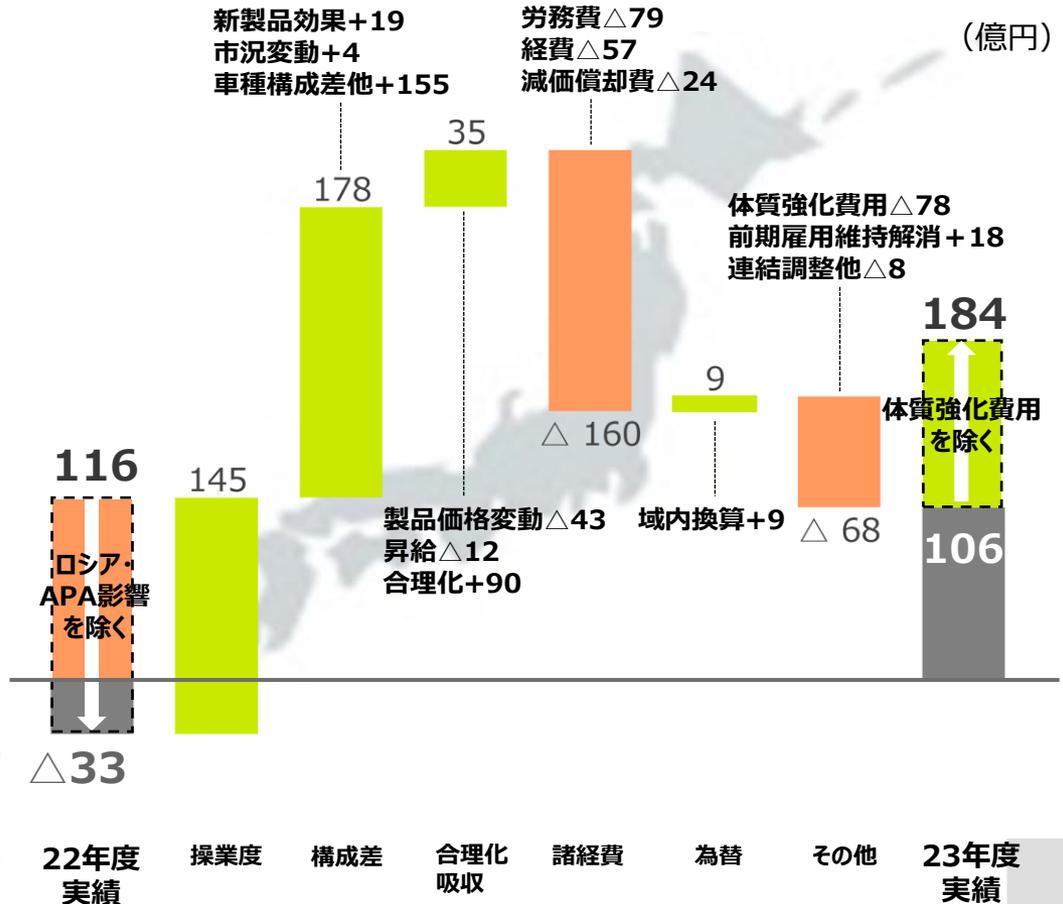


当期の経営成績

(億円)

	22年度実績	23年度実績	増減
売上収益	7,329	9,228	1,899
営業利益	116	106	△9
営業利益率	1.6%	1.2%	-

営業利益の増減解析



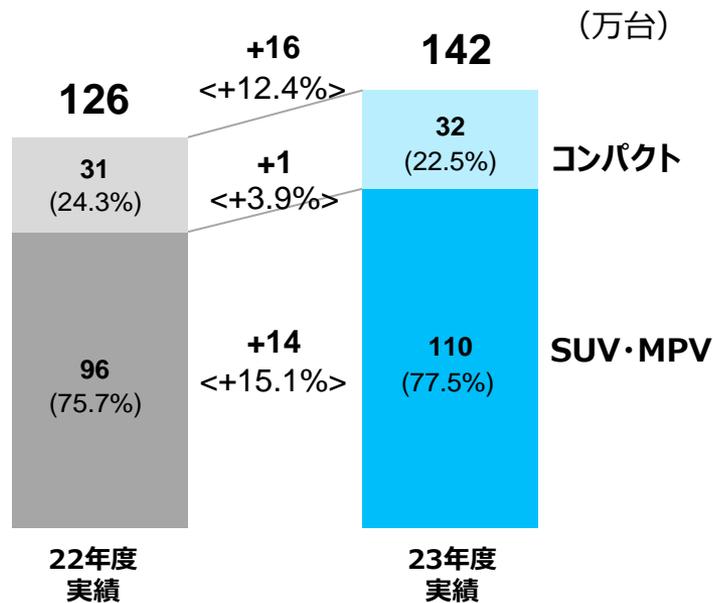
スクリプト

- ◆次に、日本ですが、前期比で
- ◆台数は、52万台増加の328万台となりました。
- ◆売上収益は1,899億円増収の9,228億円。
- ◆営業利益は、前期比9億円減益の106億円となりました。
- ◆なお、前期はロシア事業や移転価格税制調整金、
当期は体質強化費用の一過性の影響が含まれております。
これらを除く前年度営業損失33億円と
当年度営業利益184億円を比較しますと、
諸経費の増加はありますが、
SUV・MPV車種を中心とする増産効果や
車種構成の変化などにより増益となりました。

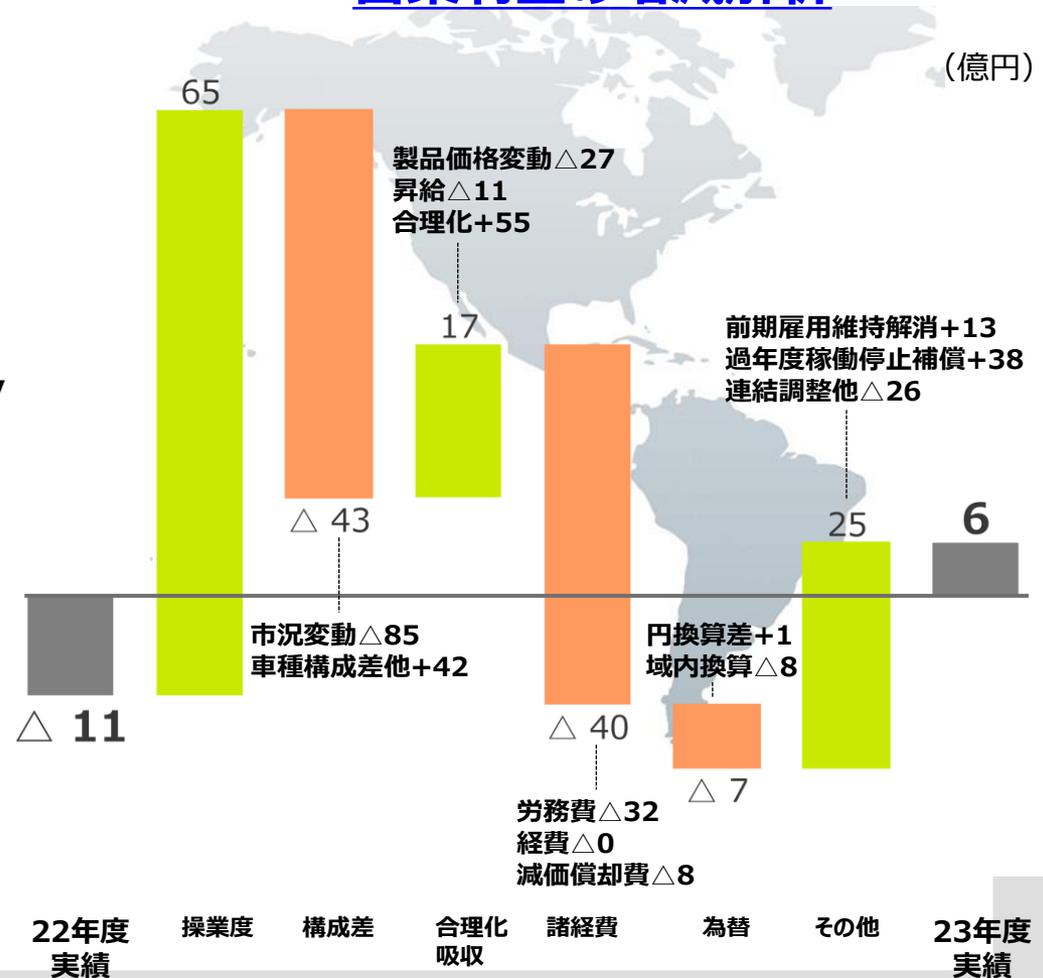
1-3) 2023年度 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

生産準備に伴う諸経費の増加や市況影響はあるものの、
新車投入等による増産効果や営業努力などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析



当期の経営成績

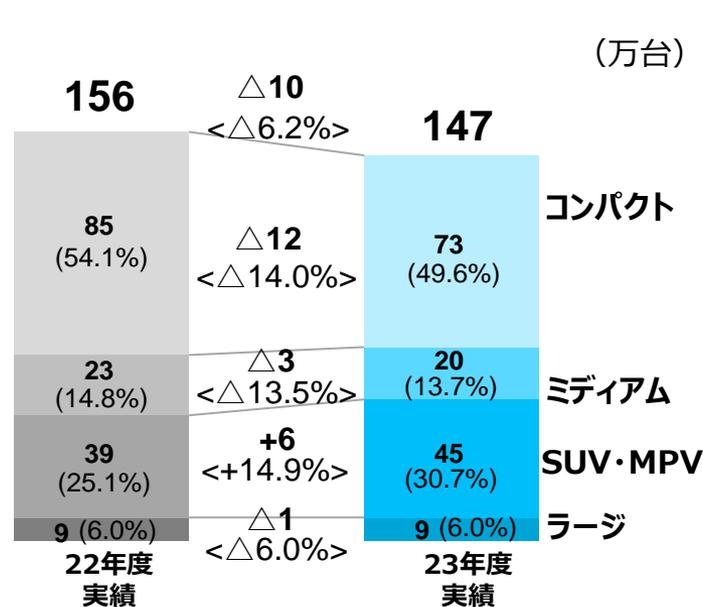
	22年度実績	23年度実績	増減
売上収益	3,887	5,003	1,116
営業利益	△11	6	17
営業利益率	△0.3%	0.1%	-

- ◆次に、北中南米ですが、前期比で
- ◆台数は16万台増加の142万台となりました。
- ◆売上収益は1,116億円増収の5,003億円。
- ◆営業利益は、
生産準備に伴う諸経費の増加や市況影響はありますが、
新車投入等による増産効果や営業努力などにより
17億円増益の6億円となりました。

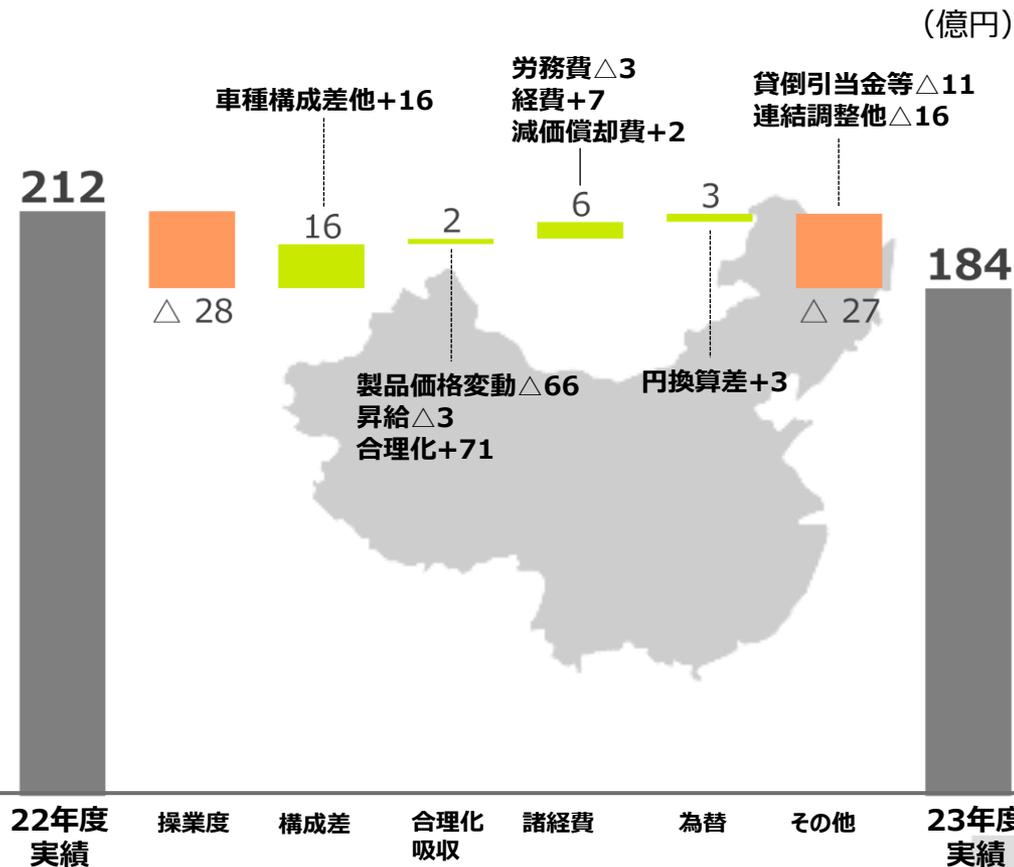
1-3) 2023年度 決算状況 中国 売上収益・営業利益

前期の新車投入による車種構成の変化などはあるものの、減産影響や一過性費用などにより減益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析



当期の経営成績

(億円)

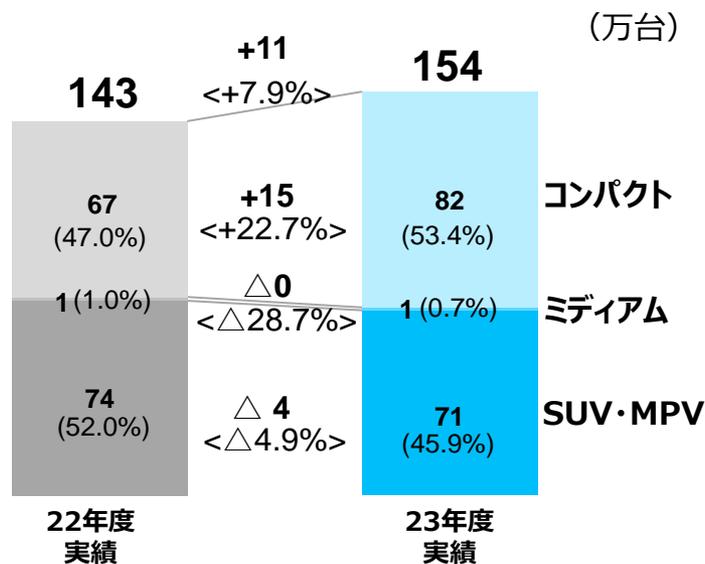
	22年度実績	23年度実績	増減
売上収益	2,446	2,362	△84
営業利益	212	184	△27
営業利益率	8.7%	7.8%	-

- ◆次に、中国ですが、前期比で
- ◆台数は10万台減少の147万台となりました。
- ◆売上収益は84億円減収の2,362億円。
- ◆営業利益は、
前期の新車投入による車種構成の変化はありますが、
減産影響や貸倒引当金等の一過性費用の影響により、
27億円減益の184億円となりました。

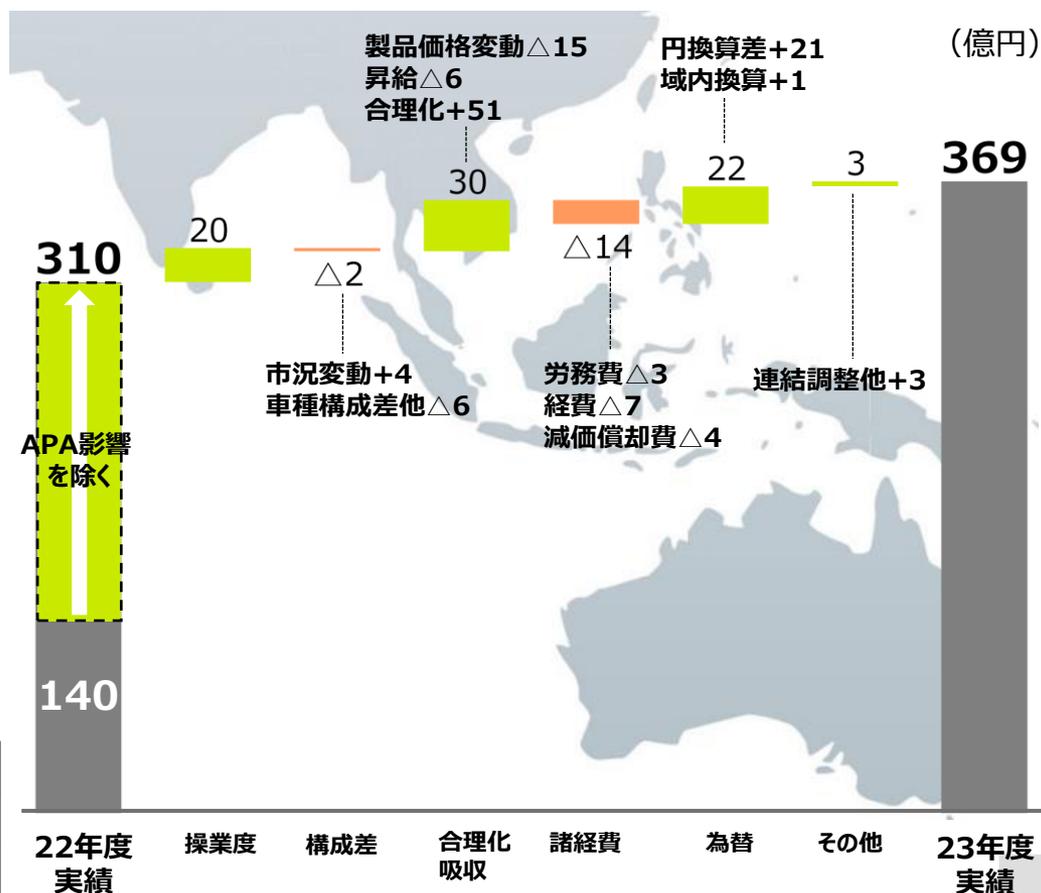
1-3) 2023年度 決算状況 アジア・北アフリカ 売上収益・営業利益

インド・インドネシア拡販等による増産効果や合理化に加え、
前年度移転価格税制調整金の影響等により増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析



当期の経営成績

	22年度実績	23年度実績	増減
売上収益	2,496	2,739	243
営業利益	140	369	229
営業利益率	5.6%	13.5%	-

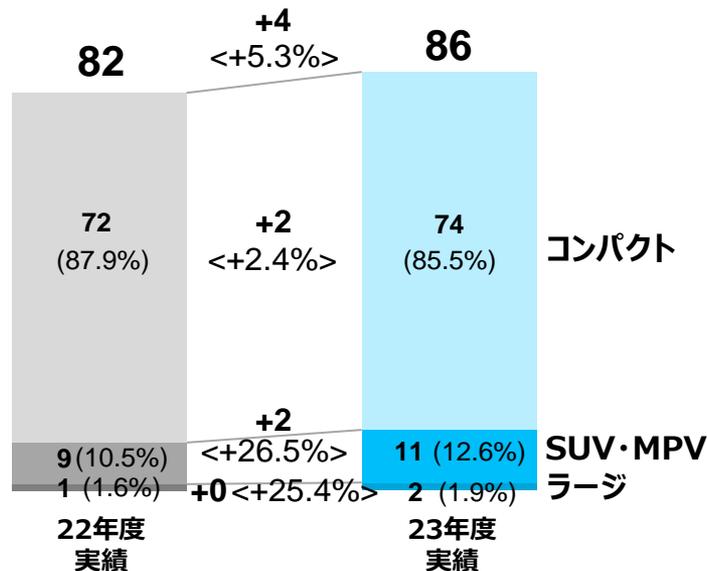
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、前期比で
- ◆台数は11万台増加の154万台となりました。
- ◆売上収益は243億円増収の2,739億円。
- ◆営業利益は、前期比229億円増益の369億円となりました。
前年度移転価格税制調整金の影響を除いた営業利益310億円と比較しましても、インド・インドネシアでの拡販等による増産効果や合理化などにより、増益となりました。

1-3) 2023年度 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

諸経費の増加や市況影響はあるものの、
増産効果や合理化に加え為替影響などにより増益

台数・車種構成の変化

(万台)



当期の経営成績

(億円)

	22年度実績	23年度実績	増減
売上収益	1,082	1,312	229
営業利益	19	119	100
営業利益率	1.8%	9.1%	-

営業利益の増減解析

(億円)



22年度実績 操業度 構成差 合理化吸収 諸経費 為替 その他 23年度実績

- ◆次に、欧州・アフリカですが、前期比で
- ◆台数は4万台増加の86万台となりました。
- ◆売上収益は229億円増収の1,312億円。
- ◆営業利益は、前期比100億円増益の119億円となりました。
ロシア事業を除いた営業利益70億円と比較しましても、
諸経費の増加や市況影響はありますが、
増産効果や合理化により増益となりました。

目次

1. 2023年度 決算状況

2. 2024年度 通期業績予想

3. 参考情報

◆続いて、2024年度の業績予想についてご説明いたします。

2-1) 2024年度 通期業績予想 連結決算概要

(億円)

	23年度 通期実績		24年度 通期予想		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	19,536	100.0%	19,800	100.0%	263	1.4%
営業利益	786	4.0%	750	3.8%	△36	△4.6%
税引前利益	873	4.5%	760	3.8%	△113	△13.0%
当期利益*	578	3.0%	470	2.4%	△108	△18.8%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益		311円74銭	253円12銭	-
為替レート	USドル	145円	145円	+ 0円
	1-0	157円	160円	+ 3円

売上収益

日本や中国など先行きに不透明感は残るが、前年度レベルの見込み

営業利益

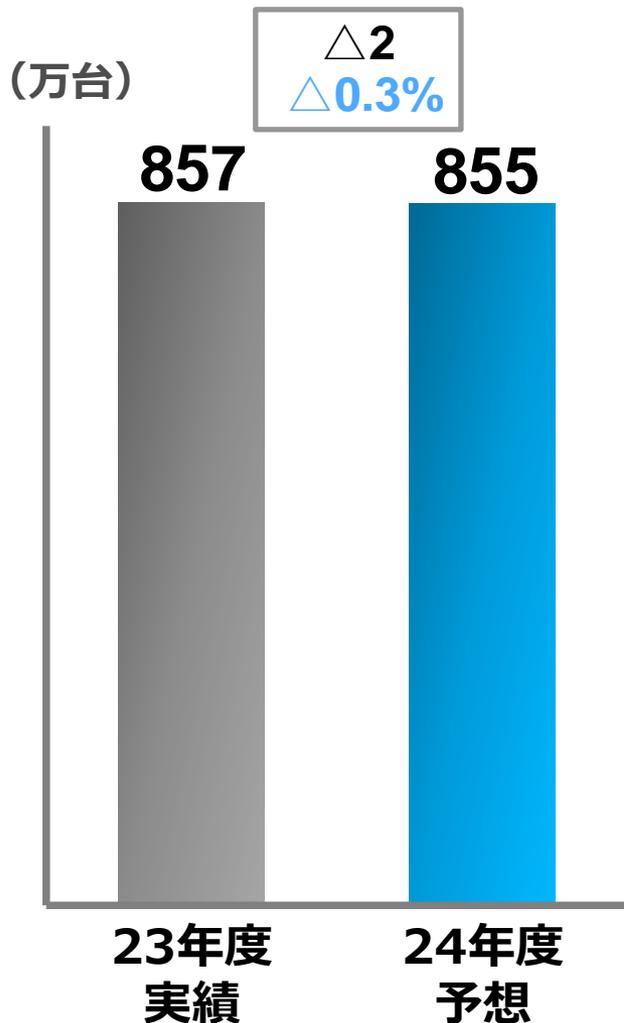
新製品効果や収益改善活動による合理化などはあるものの、
将来に向けた人材戦略投資や諸経費増加などにより減益の見込み

スクリプト

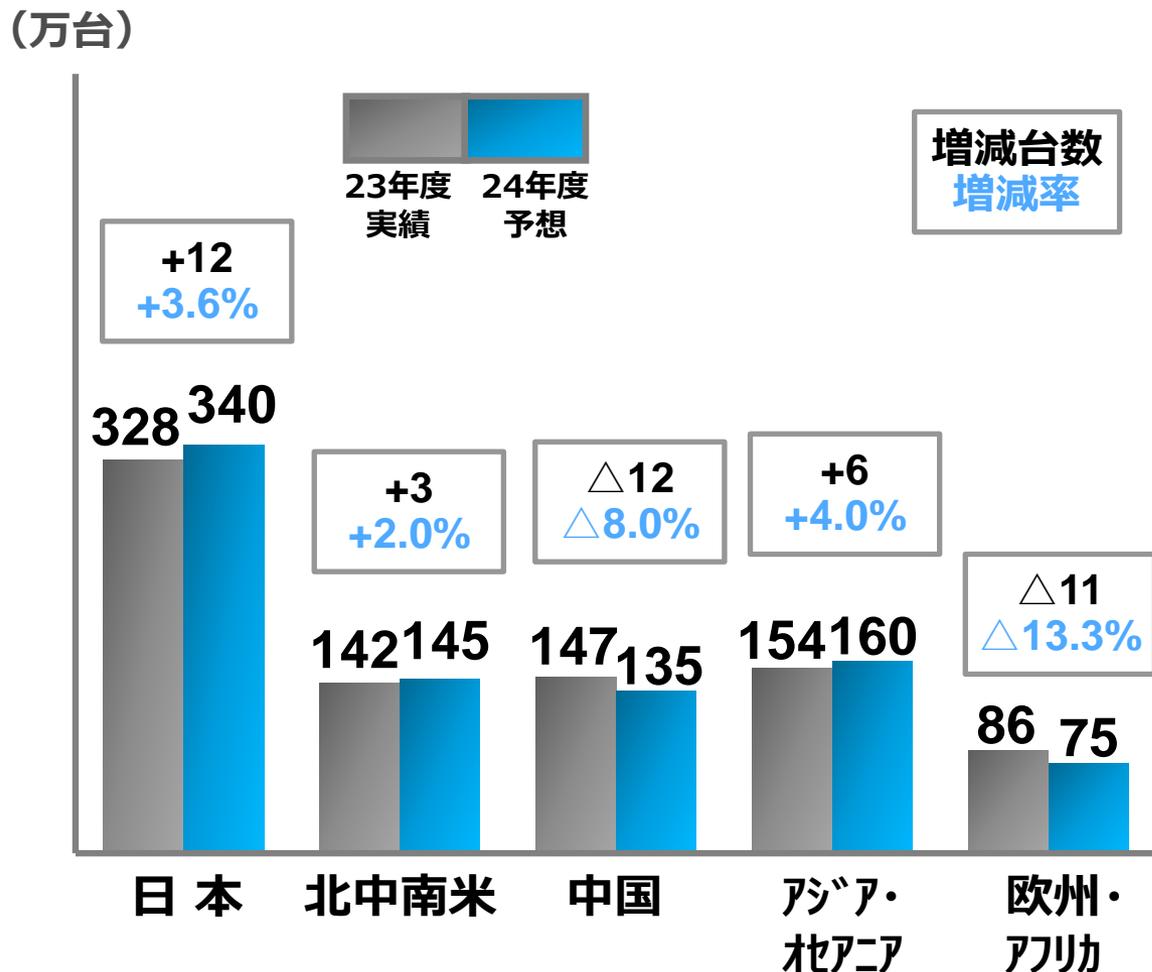
- ◆売上収益は、前期比263億円増収の1兆9,800億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比36億円減益の750億円。
- ◆税引前利益は、前期比113億円減益の760億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比108億円減益の470億円をそれぞれ予想しております。
- ◆為替レートは、1ドル145円、1ユーロ160円を前提としております。

2-2) 2024年度 通期業績予想 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



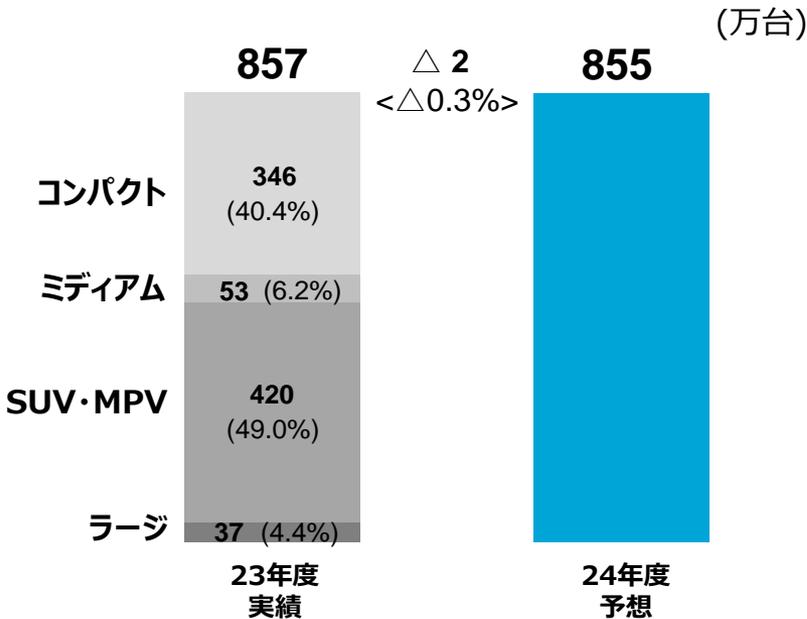
- ◆次に、シート生産台数ですが、
連結全体では、前期比2万台減少の855万台と
予想しております。

- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

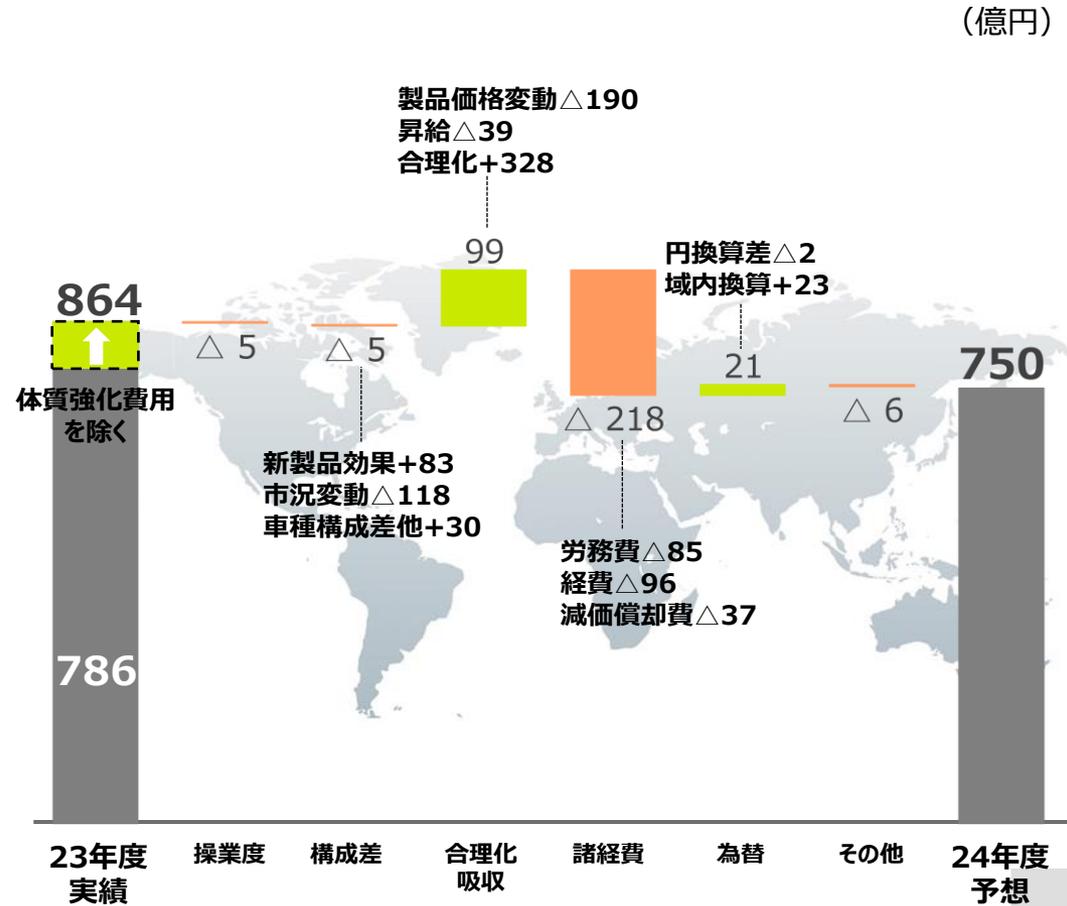
2-3) 2024年度 通期業績予想 連結 売上収益・営業利益

新製品効果や収益改善活動による合理化などはあるものの、
将来に向けた人材戦略投資や諸経費増加などにより減益の見込み

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析



当期の経営成績

(億円)

	23年度実績	24年度予想	増減
売上収益	19,536	19,800	263
営業利益	786	750	△ 36
営業利益率	4.0%	3.8%	-

スクリプト

- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数は前期比2万台減少の855万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比263億円増収の1兆9,800億円。
- ◆営業利益は、
新製品効果や収益改善活動による合理化などがありますが、
人材戦略投資や諸経費増加などにより、
前期比36億円減益の750億円となる見込みです。

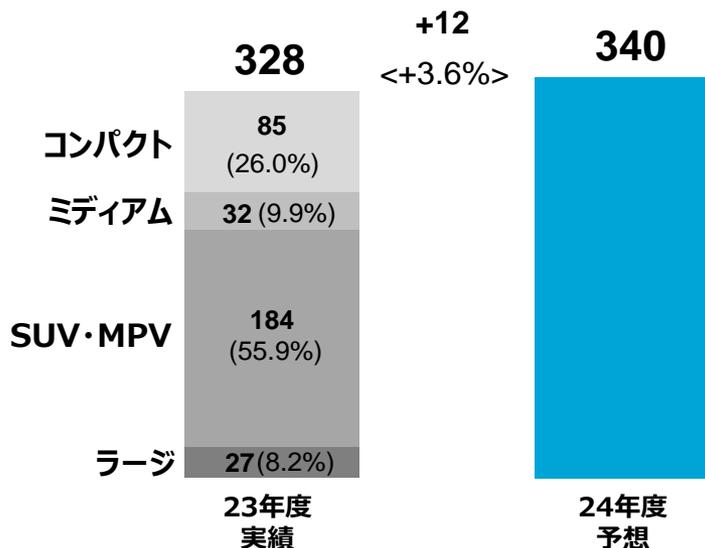
2-4) 2024年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

諸経費の増加はあるものの、増産効果や車種構成の変化に加え、前年度体質強化費用の影響などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化

(万台)



当期の経営成績

(億円)

	23年度実績	24年度予想	増減
売上収益	9,228	9,800	571
営業利益	(184) 106	180	(△4) 73
営業利益率	1.2%	1.8%	-

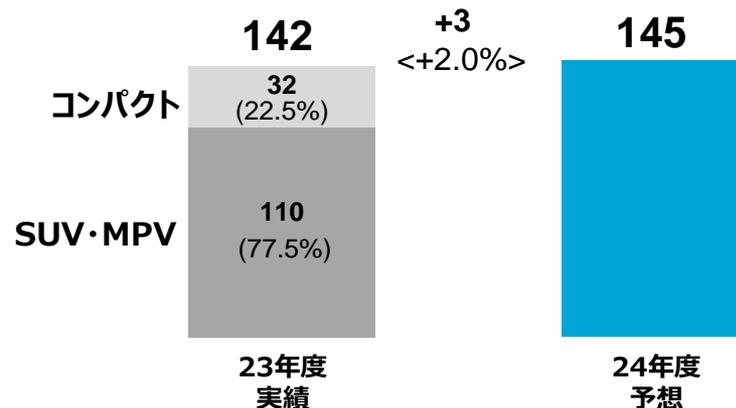
()内
体質強化
費用除き

北中南米

新拠点に伴う諸経費の増加や労務費高騰などの減益はあるものの、増産効果や収益改善活動の成果などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化

(万台)



当期の経営成績

(億円)

	23年度実績	24年度予想	増減
売上収益	5,003	5,000	△3
営業利益	6	30	23
営業利益率	0.1%	0.6%	-

スクリプト

- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。
- ◆まず日本ですが、前期比で
台数は12万台増加の340万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、571億円増収の9,800億円。
- ◆営業利益は、前年度 体質強化費用の影響を除きますと、
増産効果や車種構成の変化はありますが、諸経費の増加により、
前年度並みの180億円となる見込みです。

- ◆次に、北中南米ですが、前期比で
台数は3万台増加の145万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、3億円減収の5,000億円。
- ◆営業利益は、新拠点立上げに伴う諸経費の増加や労務費高騰などによる
減益影響はありますが、増産効果や収益改善活動の成果などにより
23億円増益の30億円となる見込みです。

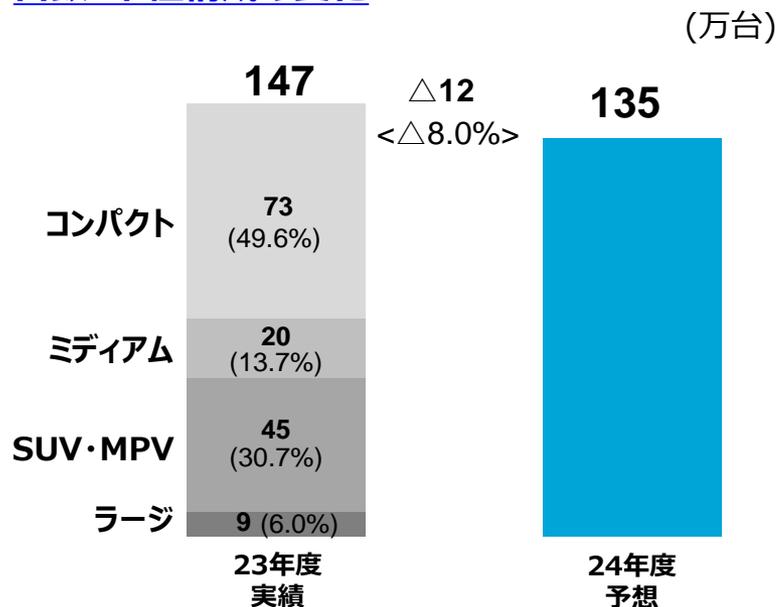
2-4) 2024年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

中国

急速なBEV※化による減産影響に加え、車種構成の変化などにより減益の見込み

※1 BEV (Battery Electric Vehicle) : 電気自動車

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

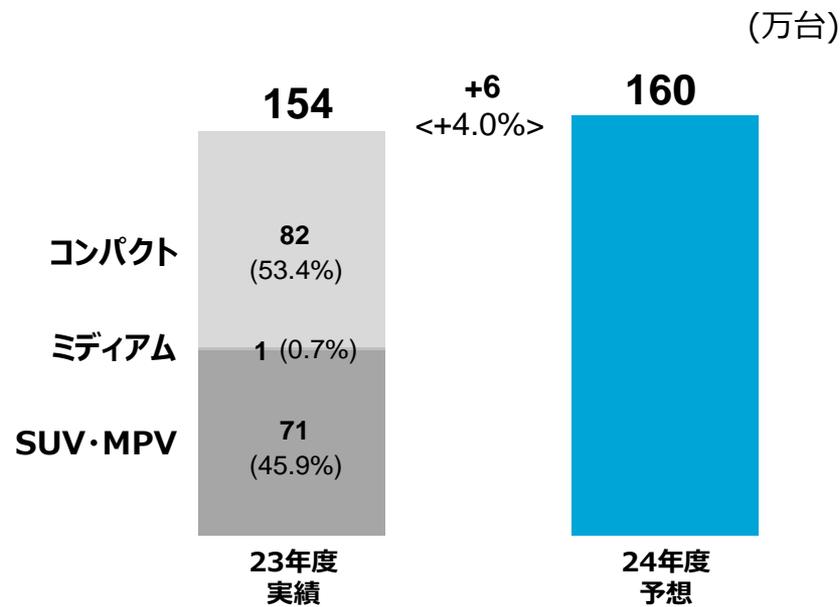
(億円)

	23年度実績	24年度予想	増減
売上収益	2,362	2,200	△ 162
営業利益	184	150	△ 34
営業利益率	7.8%	6.8%	-

アジア・セアニア

インド・インドネシアでの拡販等による増産効果はあるものの、車種構成の変化や諸経費の増加などにより減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	23年度実績	24年度予想	増減
売上収益	2,739	2,800	60
営業利益	369	350	△ 19
営業利益率	13.5%	12.5%	-

スクリプト

- ◆次に、中国ですが、前期比で台数は12万台減少の135万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、162億円減収の2,200億円。
- ◆営業利益は、急速なBEV化による減産影響に加え、車種構成の変化などにより、34億円減益の150億円となる見込みです。

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、前期比で台数は6万台増加の160万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、60億円増収の2,800億円。
- ◆営業利益は、インド・インドネシアでの拡販による増産効果はありますが、車種構成の変化や諸経費の増加などにより19億円減益の350億円となる見込みです。

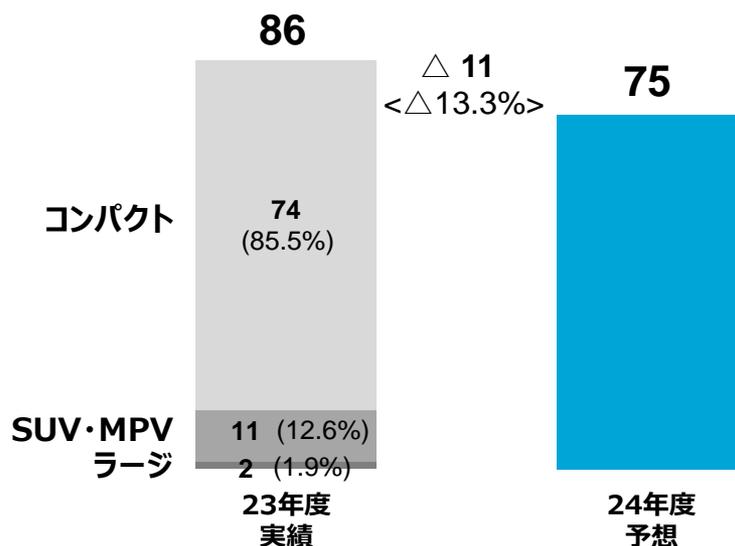
2-4) 2024年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

欧州・アフリカ

減産影響に加え、労務費高騰影響や諸経費の増加等により減益の見込み

台数・車種構成の変化

(万台)



当期の経営成績

(億円)

	23年度実績	24年度予想	増減
売上収益	1,312	1,100	△ 212
営業利益	119	40	△ 79
営業利益率	9.1%	3.6%	-

スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、前期比で台数は11万台減少の75万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、212億円減収の1,100億円。
- ◆営業利益は、減産影響に加え、労務費高騰影響や諸経費の増加などにより、79億円減益の40億円となる見込みです。

2-5) 2024年度 通期業績予想 地域別・上下別

売上収益

(億円)

	上期	下期	通期
日本	4,800	5,000	9,800
北中南米	2,500	2,500	5,000
中国	1,000	1,200	2,200
アジア・オセアニア	1,300	1,500	2,800
欧州・アフリカ	500	600	1,100
連結全体	9,600	10,200	19,800

営業利益

(億円)

	上期		下期		通期	
日本	70	1.5%	110	2.2%	180	1.8%
北中南米	20	0.8%	10	0.4%	30	0.6%
中国	70	7.0%	80	6.7%	150	6.8%
アジア・オセアニア	160	12.3%	190	12.7%	350	12.5%
欧州・アフリカ	10	2.0%	30	5.0%	40	3.6%
連結全体	330	3.4%	420	4.1%	750	3.8%

- ◆なお、上期・下期の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

2-6) 2024年度 通期業績予想 株主還元

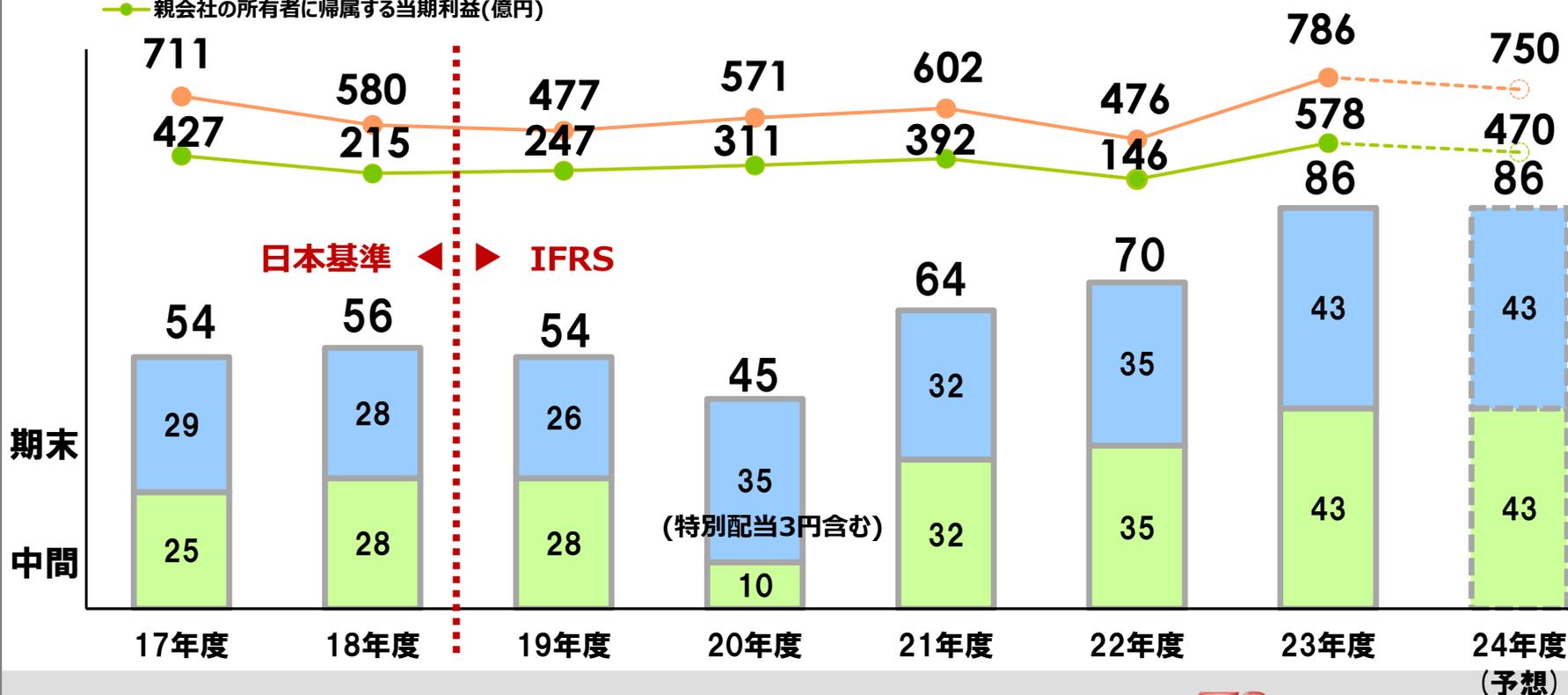
- 23年度は、前回公表と同額の86円を維持
- 24年度も年間86円を予定、今後の連結業績などを総合的に勘案し決定

配当金および営業利益、当期利益の推移

■ 配当金(円)

● 営業利益(億円)

● 親会社の所有者に帰属する当期利益(億円)



スクリプト

- ◆次に、配当金でございますが、23年度につきましては株主の皆様への還元として、前回公表据え置きの前年比16円増配の年間86円とさせていただく予定です。
- ◆24年度につきましては、23年度と同額の年間86円とさせていただく予定です。
- ◆今後、長期安定的な配当継続を基本に連結業績などを総合的に勘案し、決定してまいります。

【23年度】

- ・日本の減産や**将来に向けた体質強化費用の計上**などにより
前回公表時から減益となったものの、全社を挙げた不採算事業体の
収益改善や客先回収などの**社内努力により競争力強化は着実に進捗**

【24年度】

- ・日本や中国などの先行き不透明感はあるが、
新製品効果や米国を中心とした収益改善などにより収益力を最大化
- ・2030年中期目標達成に向けて、人材戦略投資や研究開発、
新たな顧客への拡販などの**先行投資を積極的に実施**

スクリプト

- ◆最後に、2023年度期末決算を総括させていただきます。
- ◆23年度におきましては、
日本での減産や将来に向けた体質強化費用の計上などにより、
前回公表時から減益となりました。
一方で、全社を挙げた不採算事業体の収益改善活動や客先回収など、
競争力強化活動は着実に実施してまいりました。
- ◆24年度につきましては、
日本での生産や中国の市場動向などは先行き不透明ではありますが、
新製品効果の最大化や米国を中心とした収益改善活動などの取り組みにより、
収益力の最大化に努めてまいります。
- ◆今後も、人材戦略投資や研究開発、新たな顧客への拡販などの
先行投資を積極的に実施し、2030中期経営計画でご説明しました
成長シナリオの実現を目指してまいります。

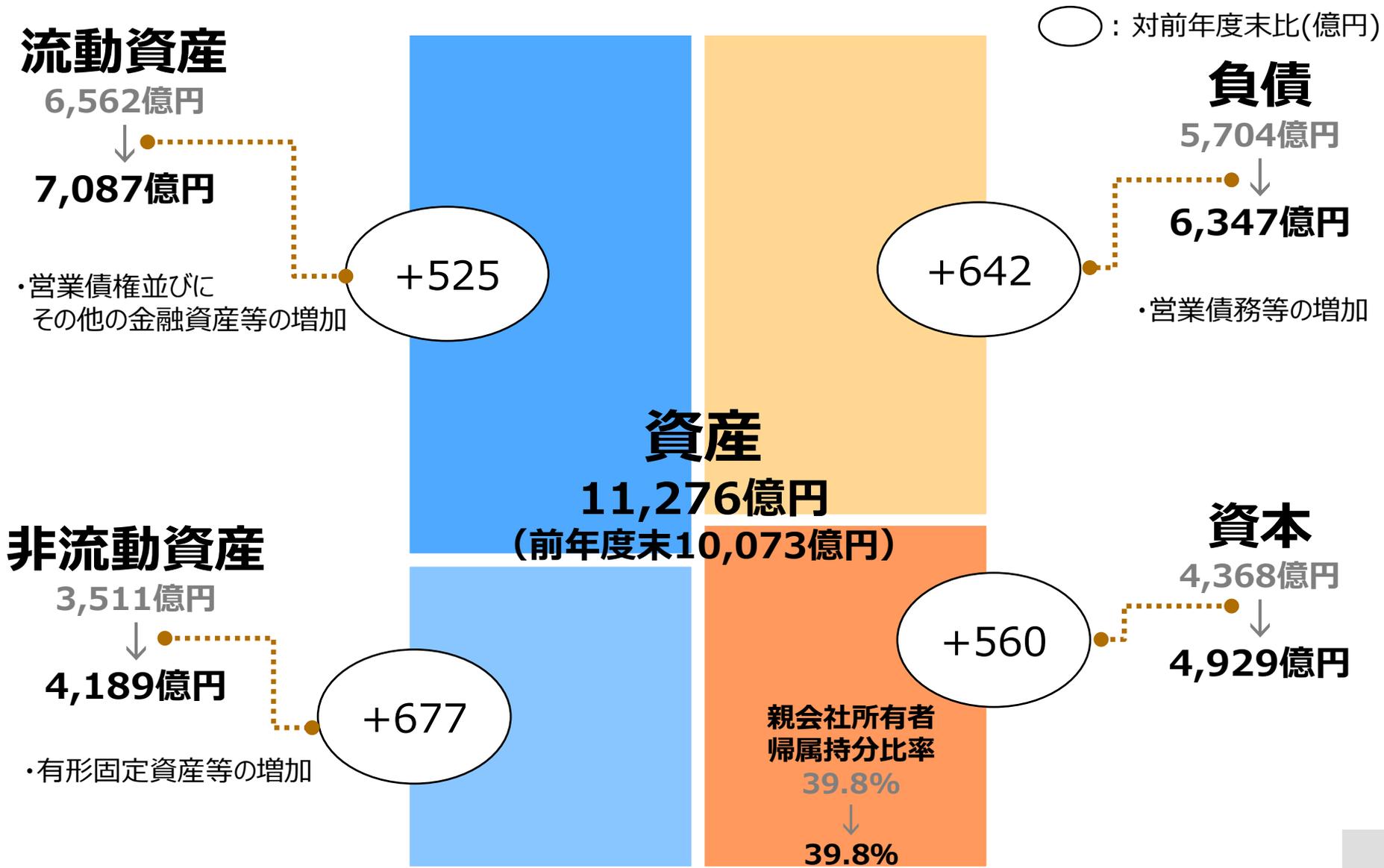
スクリプト

- ◆以上をもちまして、2023年度 期末の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

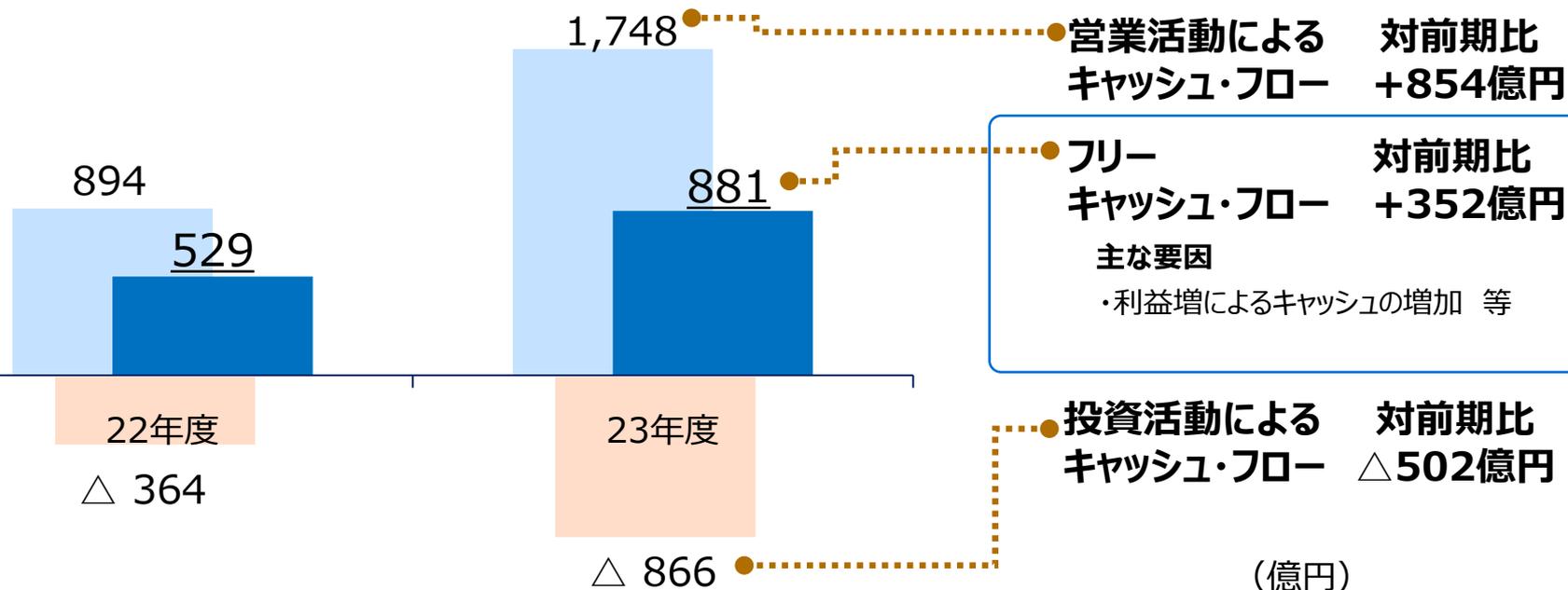
目次

1. 2023年度決算状況
2. 2024年度 通期業績予想
- 3. 参考情報**

参考1) 連結財政状態計算書の状況(24/3末)



参考2) 連結キャッシュフローの状況



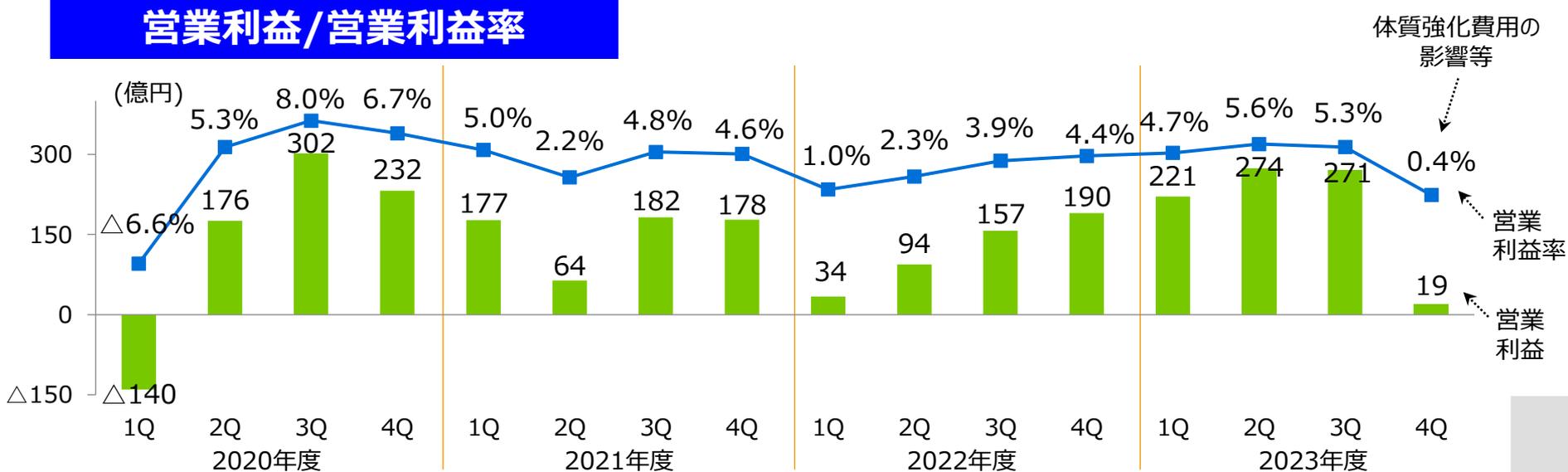
	22年度	23年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	894	1,748	854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 364	△ 866	△ 502
フリーキャッシュ・フロー	529	881	352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 408	△ 915	△ 507
為替変動による影響額	△ 19	50	69
現金及び現金同等物の増減額	102	16	△ 85
売却目的で保有する現金及び現金同等物	-	△ 56	△ 56
現金及び現金同等物の残高	2,481	2,441	△ 40

参考3) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

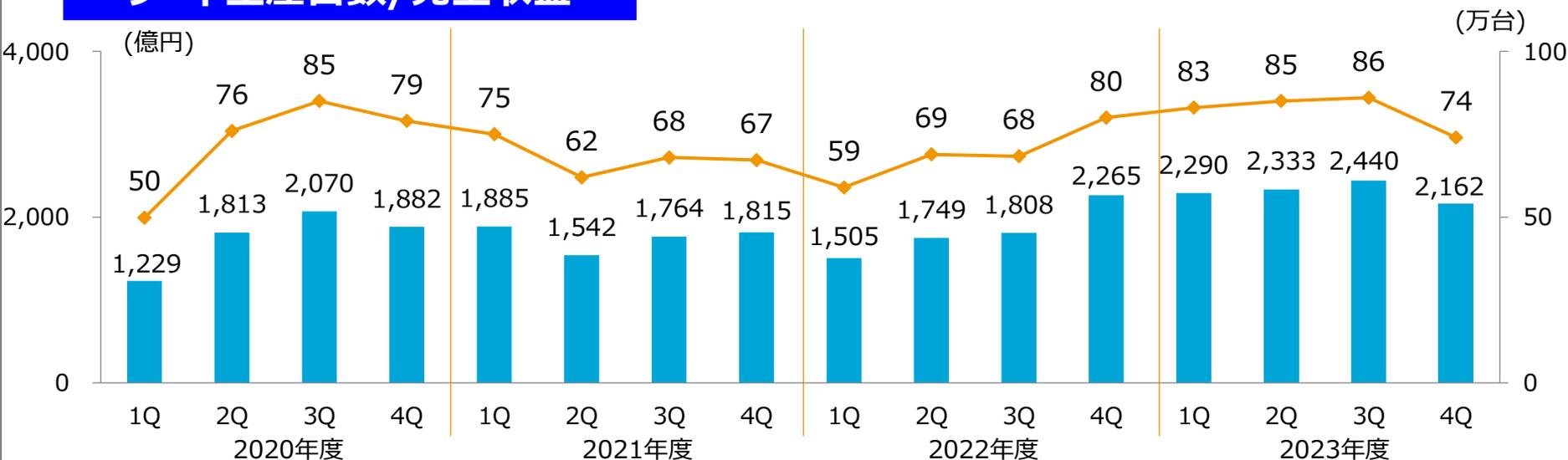


営業利益/営業利益率

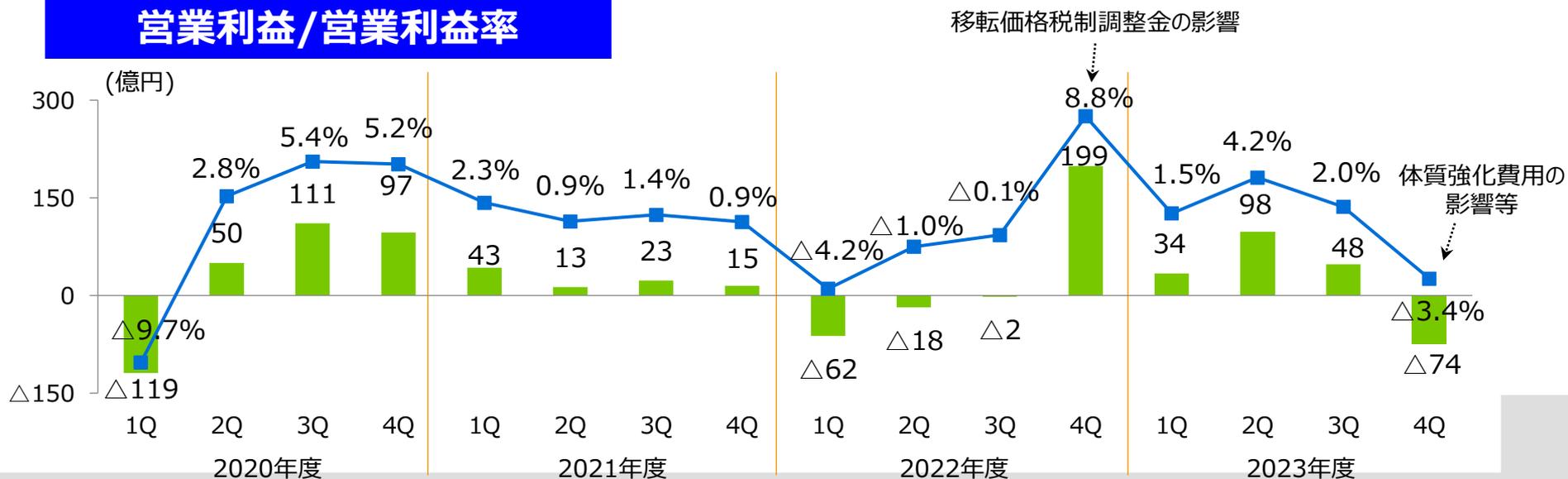


参考4) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

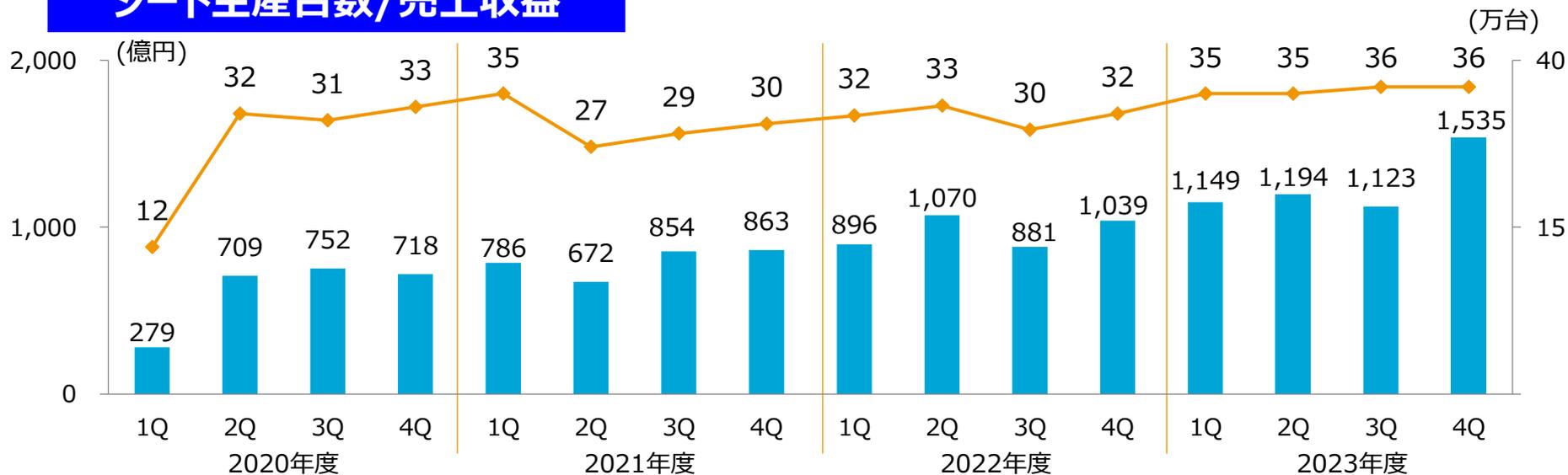


営業利益/営業利益率

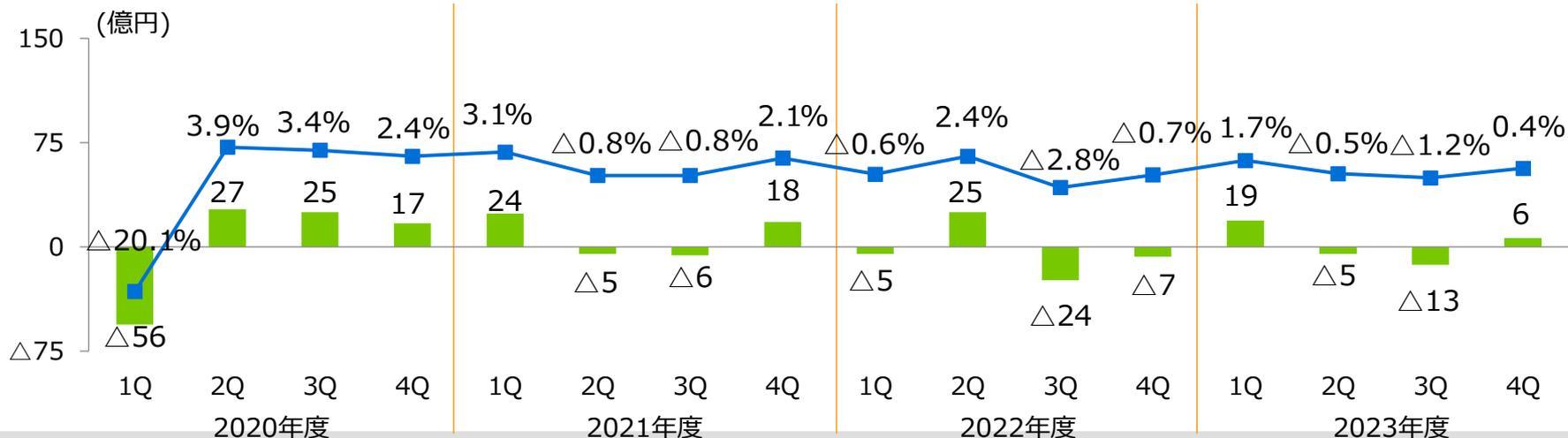


参考5) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

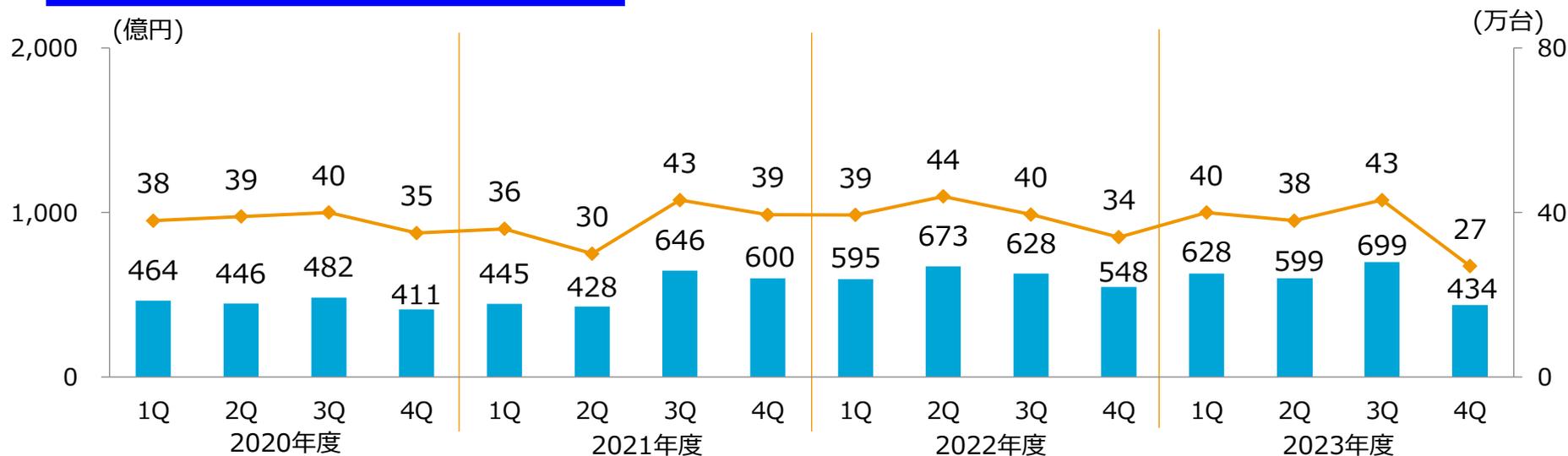


営業利益/営業利益率

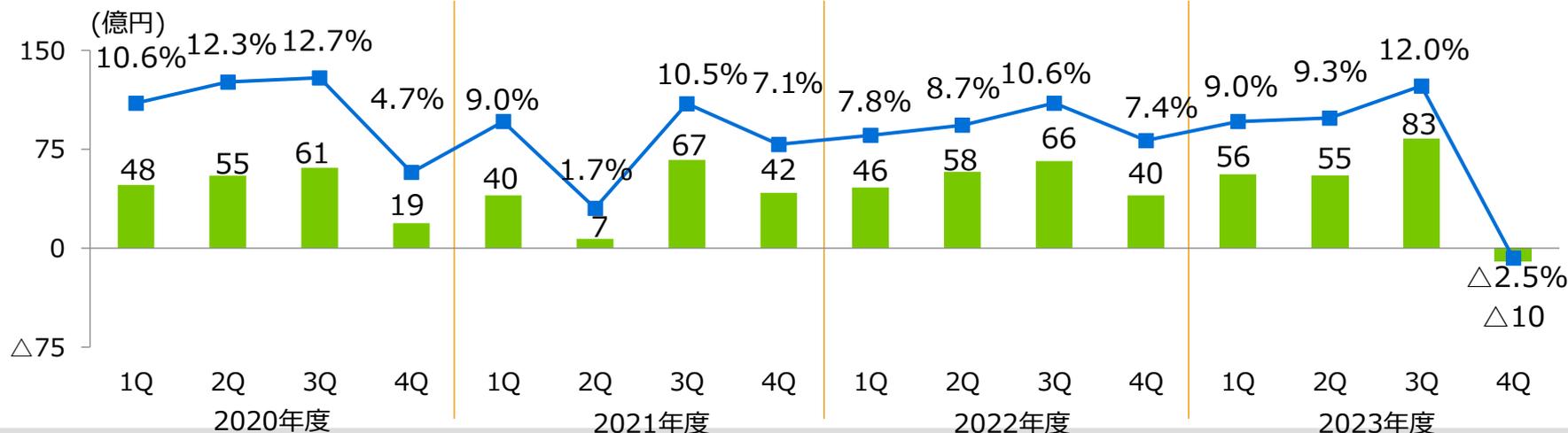


参考6) 四半期推移 中国 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

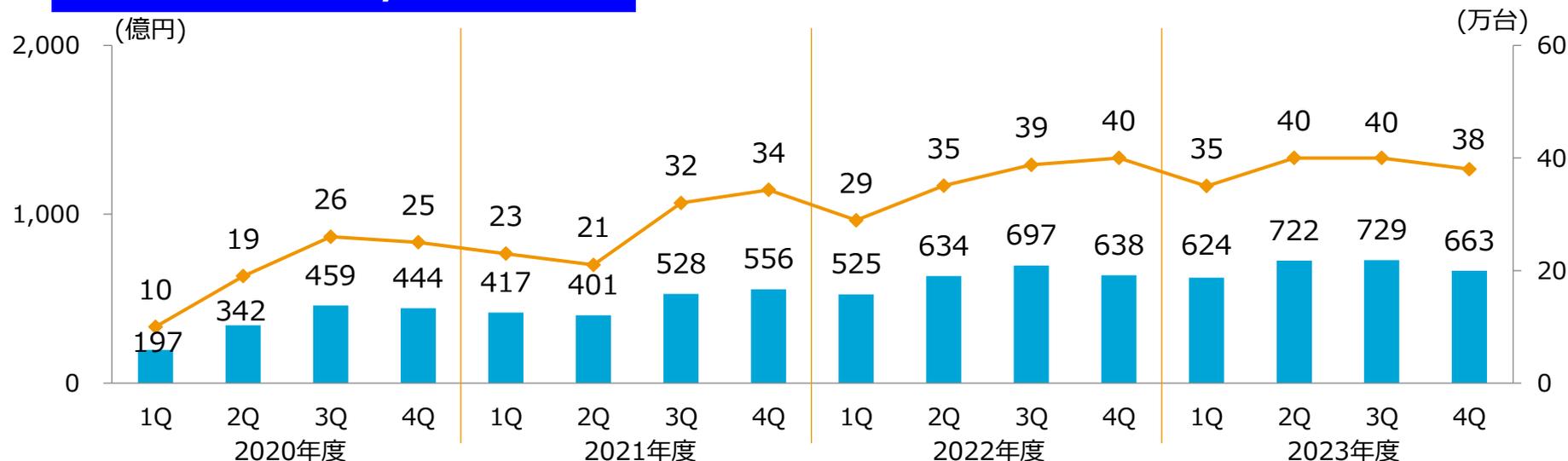


営業利益/営業利益率

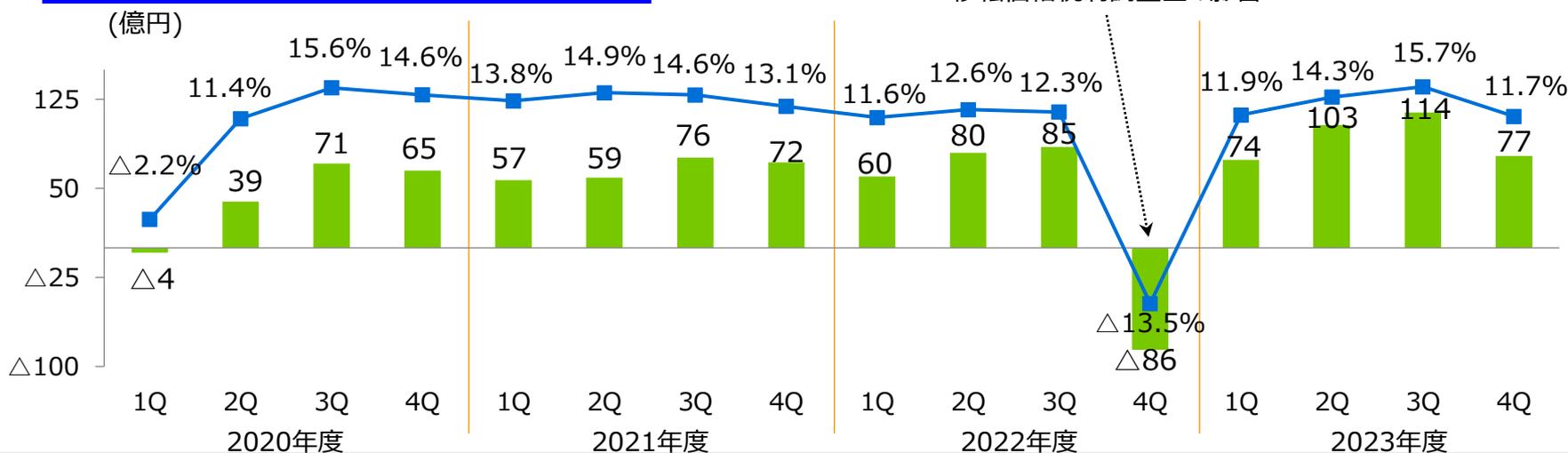


参考7) 四半期推移 アジア・北アニア 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

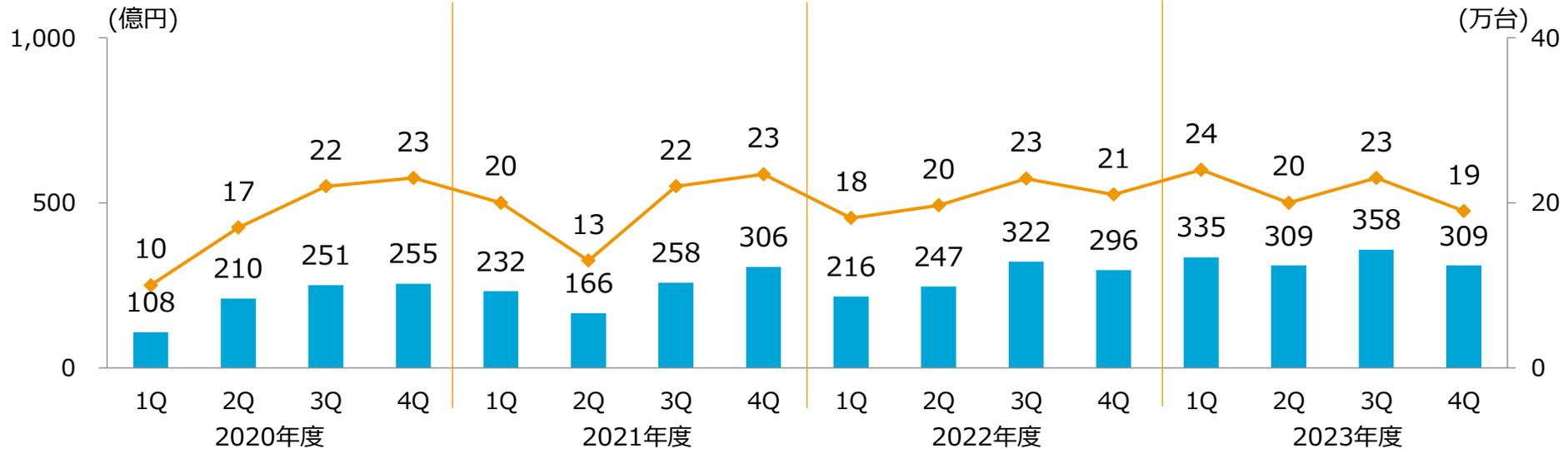


営業利益/営業利益率



参考8) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。